

当院の無痛分娩について

更新日：2024/01/29

昭和大学横浜市北部病院 産婦人科

●対象：経産婦さん（経膈分娩経験がある方）のみ

※妊娠が初めての方は申し訳ありませんが対象外になります

医師の判断により無痛分娩をおすすめできない場合もあります。

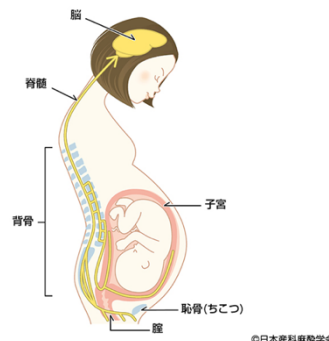
（産科的な理由で経膈分娩が不適當、血液の病気、脊椎や脊髄の病気、麻酔薬のアレルギー、高度肥満など）

●無痛分娩とは

硬膜外麻酔や脊髄くも膜下麻酔を使って分娩時の痛みを和らげる方法です。

「無痛」とは何も痛くない、感覚のないまま赤ちゃんが生まれてくるイメージをいだかれがちですが、実際は陣痛時のおなかの張りや赤ちゃんが骨盤を降りてくる感覚はなるべく残すようにします。

無痛分娩のメリットはお産の痛みが軽くなることです。また疲労が少なかった、産後の回復が早かったという感想もよく聞かれます。



日本の無痛分娩率は徐々に増加しており年間5万人以上の妊婦さんが無痛分娩を選択されています。

●当院の無痛分娩は全例計画無痛分娩です

あらかじめ妊娠38週から39週頃に産婦人科医が無痛分娩の予定を決めます。

陣痛が始まる前に薬を使用し、処置を行って陣痛を起こします。

当院では限られた曜日に限られた時間帯で行うため全例計画分娩としております。

（枠には限りがありますのでご了承ください）

是非お気軽に医師やスタッフにお声かけください